



まもなく一番線よりたきび色の電車が出発します

豊田駅の発車メロディが 童謡「たきび」へ!!

日野市旭が丘で晩年を過ごした童謡「たきび」の作詩者である異^{たつみ}聖歌^{せい か}の功績を顕彰し、平成22年1月23日より、JR豊田駅の発車メロディが童謡「たきび」になりました(作曲は渡辺茂)。

童謡「たきび」に、より親しみをもっていただくため、大正・昭和の児童文学に大きな足跡を残した詩人・異聖歌をご紹介します。



かきねの垣根のまがりかど
たきびだ 林火火だ 落葉たき
あたらうか
あたらうよ

北風ひいぶう 吹いている

さかんか 山茶花さいた道
たきびだ 林火火だ 山落葉たき
あたらうか
あたらうよ

桑相やけおててか ほうかゆい

こがらし木枯しきむい道
たきびだ 林火火だ 落葉たき
あたらうか
あたらうよ

相談しながら 歩いてく
聖歌

JASRAC 出 1000012-001



旭が丘中央公園にある「たきび」詩碑(平成11年建立)



平成11年4月に「たきび会」のみなさんが地元旭が丘中央公園に「たきび」の詩碑を建立、平成17年秋には日野市郷土資料館主催の「たきびの詩人異聖歌 生誕百年記念展」が開催され、その後旭が丘を中心に「たきび」に関する各種催物が行われています。

日野市でも地元のみなさん及び、旭が丘商工連合会、議会等からの要望を受け、平成18年よりJRとの協議を開始。その後JRと協議を進める中で、地元の旭が丘商工連合会とたきび会が行った2,000名を超える署名活動が後押しとなり、今回の実施に至りました。